

言者フドの物

:

明:神の赦しをいうことの重要性。

目:[事イスラムの信条](#) [言者の物](#)

より: ア イシャ ステイシ

日10 Feb 2014

集日 07 Jul 2014



ムスリムが、ユダヤ教やキリスト教において信じられている言者たちの多くを、彼らと同じように信じているという事に、山の人々はくでしょう。ノア、アブラハム、モゼ、イエス、そしてその他の多くがクルアンの随所に登するのです。典の全て、そして神の言者を全信じるということは、イスラムの必信仰条の内の2つなのです。それゆえ、ムスリムはモゼのトラとイエスの福音（インジル）をどちらもめるのです。しかしながら、それらの典には改の手が加えられていたり、代と共に失われた所も存在していることから、その中のクルアン、そして言者ムハンマドにまつわる真正な承において されている部分だけをムスリムは信じています。

旧 では、エベルと呼ばれるノアの子 について言及されています。一部の 承では、彼はヘベルと呼ばれ、ヘブライの父として知られています。イスラムにおいて、彼はフド [2](#) として知られ、アラブの4人の言者たちの内の一人です。他の3人はサリフ、シュアイ

ブ、そしてムハンマドです。14世の著名なイスラム学者イブンカシールによると、イブンジャリルもフドがノアの子であることを主としたとしています。

神によって人々のもとに遣わされたフドは、神は唯一であり、神のみを崇めよという教えを命じました。それは、すべての言者たちによってかれたものと同じ教えなのです。フドは人々にこう言いました。

“わたしの人びとよ、アッラに仕えなさい。あなたがたには、かれの外に神はないのである”（クルアーン11:50）

フドは、アドという古代文明に属しており、その首都はウバル、またはクルアーンにおいてイラム（89:67）として知られる街でした。

アドは、オマーンとイエメンの国境りの丘陵地に存在していたといわれます。人々は高い建物を建てたため、その地域は「千柱の地」として知られるようになったとされます。そこでは独自の文明が繁栄していました。神はアドとその民を祝福し、そこを肥沃な地とし、人々は子宝にまれ、を展させ、十分な家畜と水源への容易な手段が与えられました。人々は身が高く、屈であったと述べられています。

アドは、裕福な代社会と多くの点で共通していると言えるかも知れません。そこは富で溢れ返り、尊大で傲慢な人々は基本的な必要性をたすだけでは足しませんでした。彼らはただに富を示すために高い塔や住居を建て始め、世で永久に生きけるかの如く、金や品物を溜め込んだのです。

アドの政者や指者たちは、力な独裁をしき、その展と共に周地域をも支配下に置くようになりました。彼らの中には魔が潜んでおり、彼らの行を彼らにとってえの良いものにせかけました。彼らは尊大さ傲慢さをし、やがては偶像崇が蔓延することになりました。

言者フドも屈な人物でしたが、彼はそのさを社会に蔓延るの解に用いました。しかし、人々は彼のに耳をけるには傲慢すぎました。彼らはフドがを指摘することを望まず、正と公正への呼びかけを拒しました。彼はこう言ったのです。

彼らは、神によって7 8日 けて された暴 にさらされて し、人々はあたかも朽ちたヤシの木の のように倒れていました（クルア ン69:6 7）。

イブン カスィ ルによると、暴 は な土地だった地域全体が砂漠の中の埋もれた 墟となるまで きました。フ ドと彼の追 者の小さな集まりだけが助かり、彼らは 在のイエメン ハドラマウト地方に移り住んだとされています。

エピロ グ

ウバルは、有力で かな人々の住んだ砂漠のオアシスであり、当 の 易の要でした。 によれば、そこは巨大な砂 によって埋もれてしまったとされます。1992年、「失われた の 都市」は、センサ などの近代 器を 使って されました。 星写真は、 な砂丘の下に埋もれた道があることを指し示しました。 在、ウバルでは の 掘作 が められており、そこは9メートルの塔や分厚い壁に まれた、八角形の城壁を する都市だったということが明らかになっています。

Footnotes:

1 The International Standard Bible Encyclopaedia -<http://www.studylight.org/enc/isb/view.cgi?number=T2864>

2 イブン カスィ ル著の 言者物 より

3 <http://www.jpl.nasa.gov/radar/sircxsar/ubar1.html>

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2716>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。